

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 168 『換骨奪胎』 かんこつ だったい

＜ 意味 ＞ 古人の詩文の表現や発想などを基にしながら、これに創意を加えて、自分独自の作品とすること。他人の詩文、また表現や着想などをうまく取り入れて自分のものを作り出すこと。骨を取り換え胎盤を奪い取って、自分のものとする意から。

「骨を換え胎を奪う」と訓読する。「奪」は「脱」とも書く。

出典：『冷斎夜話』

用例：こう云う詩集などの表現法を換骨奪胎することは必しも稀ではなかったらしい

＜芥川龍之介・芭蕉雑記＞

語釈：もと、「換骨」は凡骨を取り去って仙骨に取り替える、「奪胎」は胎盤を奪い生まれ変わらせる意で、修練をして根本から仙人に生まれ変わることをいう道家の語。転じて、詩文の創作法として「換骨」は、古人の詩文の意味を変えないで字句を変えること。「奪胎」は古人の詩文の内容・主意を取って作りかえること。今では、他人の作品の一部を作りかえて、新しいもののように見せかける意に用いられることもある。

一言：先日小俣代表と goo 辞書の「四字熟語人気ランキング」第一位がどうして笑止千万なのか知りたいね、という会話を交わしました。早速、根拠が分からないか当該の goo 辞書を開いて見たのですが、驚くことに気づきました。なんと第一位は換骨奪胎、第二位が笑止千万に変わっているではないですか。よく見ると＜毎日更新＞になっていて、12月7日付けの集計結果が掲載されていたのです。第一位笑止千万は11月某日の集計だったのです。

何を根拠にしているのか知りたいところですが、おそらくはネットに掲載された文章を日々検索し、データベースにして集計しているのではないのでしょうか。

参考文献：岩波書店「四字熟語辞典」